

平成 30 年 6 月 6 日現在

機関番号：32621

研究種目：基盤研究(B) (海外学術調査)

研究期間：2013～2017

課題番号：25301014

研究課題名(和文)大気の大気保護に関する国際立法の研究

研究課題名(英文)A Study on International Lawmaking relating to the Protection of the Atmosphere

研究代表者

村瀬 信也 (MURASE, Shinya)

上智大学・法学部・教授

研究者番号：80062660

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 7,700,000円

研究成果の概要(和文)：国連国際法委員会では2013年以降「大気の大気保護」を議題に採択した。申請者は本議題の特別報告者に任命され12か条のガイドライン草案を起案、2018年の会期で第1読が終了した。この間、特別報告者として、全300頁、5篇に及び報告書を執筆・提出し、さらに「大気の大気保護」に関する幾篇かの学術論文を公表したほか、欧州およびアジア各国の学会・研究機関・大学等での講演・講義を通して、「大気の大気保護」の重要性を訴えてきた。以上をもとに、2020年における国際法委員会における本議題の第2読審議を経てガイドライン草案の最終確定とともに、国際法委員会に提出する報告書ならびに学術論文を土台に、単行本を纏める予定である。

研究成果の概要(英文)：“Protection of the Atmosphere” is the pressing concern of the international community as a whole. As the World Health Organization (WHO) has announced, there are seven million people each year who suffer from premature death by air pollution. The UN International Law Commission (ILC) has adopted the topic on “Protection of the Atmosphere” as its agenda in 2013 and appointed myself as Special Rapporteur for the topic. Thanks to the Aid in grant of Kakenhi, I was able to submit to ILC five reports, 300 pages in total, over these five years, on the basis of which the ILC has provisionally adopted 12 Draft Guidelines in 2018. I was also able to write several academic articles on the subject. Furthermore, I attended a number of conferences in Europe and Asia and spoke on the topic “Protection of the Atmosphere”. The ILC will ultimately adopt the Draft Guidelines in 2020 in the second reading. I plan to publish a book in 2021 compiling the ILC reports and my academic contribution.

研究分野：国際法

キーワード：大気 大気汚染 国際法委員会 気候変動 ガイドライン 国際法 国際協力 科学的知見

### 1. 研究開始当初の背景

「大気」に関する国際法は、越境大気汚染および気候変動・オゾン層保護等について断片的に個別条約が存在するが、国連海洋法条約のような包括的条約は存在していない。個別条約の下では、地域的にも規制物質に関しても、さらに適用法規の面でも、多分に欠缺 (gap) が生じている。大気は地球全体を覆う最大の共有資源であるが、同時に、汚染を吸収する能力には限界があり、これをどのように持続的に保護していくかが問われる状況にあった。「大気」は流動的存在で、常に国境をまたいで移動している。しかるに伝統的国際法では、大気についてこれを真正面から位置づけることなく、主に領域概念を基にした「空域」概念と未分化のままに放置されたことが基本的な問題であった。

### 2. 研究の目的

「大気」に関して国際法上の位置づけを明確にし、国際法の「欠缺」をいかに克服するかが、本研究の目的である。すなわち、「大気」に関する国際法の包括的枠組を設定し、その国際立法の可能性を模索することである。具体的には、国連国際法委員会で「大気」の保護に関する議題が採択され、私が特別報告者に任命されたことから、この問題に関する報告書を執筆し、国連総会に「大気」の保護に関するガイドライン草案」を提出して各国の検討を要請するとともに、海洋法や宇宙法と並ぶ国際法の独立の一分野としての「大気」の国際法」を構想することにある。

### 3. 研究の方法

これまで締結された大気に関する国際条約および大気に関する国際判例の分析を通して、従来の接近方法の限界を明らかにするとともに、この問題に関する多くの文献を渉猟して、「大気」の国際法」の存在と機能を実証的に研究する。また「大気」の国際法」と密接な関係にある他の国際法分野（海洋法、国際

貿易・投資法、人権法など）との相互関係を明らかにすることも不可欠である。「大気」の国際法」の特殊性に鑑み、他の国際法分野における「国際立法」との比較も、重要な関心事項である。

### 4. 研究成果

国連国際法委員会では、私がこの議題の特別報告者に任命されて、この5年間に全部で300頁の5篇の報告書を執筆、12か条のガイドライン草案を起案し、2018年の会期で第1読が終了した。2019年に出される各国政府の意見をもとに2020年には国際法委員会で第2読審議が行われガイドライン草案が最終的に確定される段取りである。また、「大気」の保護」に関する幾篇かの学術論文を公表したほか、欧州およびアジア各国の学会・研究機関・大学等での講演・講義を通して、「大気」の重要性を訴えることも出来た。以上の成果をもとに、2021年には、国際法委員会に提出した報告書とこれまでに執筆した学術論文を土台に、単行本（英語および日本語）を纏めたいと考えている。

### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計7件)

1. 村瀬信也「国際法委員会の70年と新たな傾向：国際法の漸進的発達と科学的知識」『法律時報』89巻10号、9-13頁、2017(査読有り)。
2. Shinya Murase, “Fifth Report of the Special Rapporteur on the Protection of the Atmosphere” (A/CN.4/711), *Yearbook of the International Law Commission*, Vol. 1, 2018, pp. 1-58 (査読無し)。
3. Shinya Murase, “Fourth Report of the Special Rapporteur on the Protection of the Atmosphere” (A/CN.4/705), *Yearbook of*

- the International Law Commission*, Vol. 1, 2017, pp. 1-52 ( 査読無し ) .
4. Shinya Murase, “Third Report of the Special Rapporteur on the Protection of the Atmosphere” (A/CN.4/692), *Yearbook of the International Law Commission*, Vol. 1, 2016, pp. 1-52 ( 査読無し ) .
  5. Shinya Murase, “Second Report of the Special Rapporteur on the Protection of the Atmosphere” (A/CN.4/681), *Yearbook of the International Law Commission*, Vol. 1, 2015, pp. 1-50 ( 査読無し ) .
  6. Shinya Murase, “First Report of the Special Rapporteur on the Protection of the Atmosphere” (A/CN.4/667), *Yearbook of the International Law Commission*, Vol. 1, 2014, pp. 1-59 ( 査読無し ) .
  7. 村瀬信也「国際法の規範形成における国際法委員会の役割 課題選択を中心に」*国際法外交雑誌* 112 巻、2013 年、1-29 頁 ( 査読有り ) 。

[ 学会発表 ] ( 計 14 件 )

1. Shinya Murase, “Protection of the Atmosphere: Work in Progress of the UN International Law Commission”, UN Library Speakers Series, 2018 年 5 月 4 日.
2. Shinya Murase, “Protection of the Atmosphere: Work in Progress of the UN International Law Commission”, East China University of Politics and Law, Institute of International Law, Shanghai, 2018 年 4 月 16 日.
3. Shinya Murase, “Protection of the Atmosphere and International Law: Work in Progress of the UN International Law Commission”, Wuhan University Institute of International Law, 2018 年 4 月 2 日.
4. Shinya Murase, “Protection of the Atmosphere and International Law”, National University of Vietnam and Diplomatic Academy of Vietnam, Hanoi, 2018 年 1 月 26 日.
5. Shinya Murase, “Protection of the Atmosphere and International Law”, Universiti Teknologi Mara, Kuala Lumpur, Malaysia, 2018 年 1 月 24 日.
6. Shinya Murase, “Protection of the Atmosphere”, Joint Conference by the Singapore Branch of International Law Association and the Attorney General’s Chamber of Singapore, 2018 年 1 月 22 日.
7. Shinya Murase, “Protection of the Atmosphere and International Law”, Open Lecture, Peking University Institute of International Law, Beijing, 2017 年 12 月 15 日.
8. Shinya Murase, “Protection of the Atmosphere and International Law”, Norwegian Academy of Science and Letters, Oslo, Norway, 2017 年 4 月 27 日.
9. Shinya Murase, “Protection of the Atmosphere and International Law”, Oslo University Faculty of Law, Norway, 2017 年 4 月 26 日.
10. Shinya Murase, “Protection of the Atmosphere and the International Law Commission,” Institute of International Law, University of International Business and Economy, Beijing, 2016 年 12 月 9 日.
11. Shinya MURASE, “International Law and the Protection of the Atmosphere,” Renmin University Law School, Institute of International Law, Beijing, 2016 年 9 月 24 日.
12. Shinya Murase, “Protection of the Atmosphere and International Law”, University of Zagreb Law School, Zagreb, Croatia, 2015 年 6 月 8 日.
13. Shinya Murase, “Protection of the

Atmosphere”, ILC-International Law Seminar, Palais des Nations, Geneva, Switzerland, 2015年7月11日(なお、2016年7月9日、2017年7月6日にも、同様の講演を行なっている)

14. Shinya Murase, “International Law Making by the United Nations”, AALCO Peking Seminar, 2015年4月11日.

〔図書〕(計 2件)

1. James Crawford, Koroma, Said Mahmoudi, Allain Pellet, Shinya Murase, et al. *The International Legal Order: Current Needs and Possible Responses: Essays in Honour of Djamchid Momtaz*, Leiden: Brill, 2017, 797 pages, (pp. 41-52).
2. Mitsuo Matsushita, Thomas Schoenbaum, Shinya Murase, et al., *Emerging Issues in Sustainable Development: International Trade Law and Policy Relating to Natural Resources, Energy, and the Environment*, Springer Publishing Co., 2016, 402 pages, (pp. 399-402).

〔産業財産権〕

出願状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

村瀬 信也 (MURASE, Shinya)  
上智大学・法学部・教授  
研究者番号：80062600

(2) 研究分担者

( )

研究者番号：

(3) 連携研究者

( )

研究者番号：

(4) 研究協力者

( )